TOWNTOPICS

市民の翼 ~中学生をアメリカへ派遣~

7月30日から8月6日までの8日間、 市長を団長として、市内の中学生10人が アメリカ合衆国へ派遣されました。

一行は二本松市出身の世界的歴史学者・ 朝河貫一博士の足跡を訪ね、朝河博士が 学んだダートマス大学やイェール大学、 友好都市であるハノーバー町などを訪問 し、博士の功績について学習するととも に、ホームステイをするなどして、現地 の市民と触れ合い、国際交流を肌で体験 してきました。



L'E D体験教室

7月24日、市民交流センターで、夏休みこども教室と して「LED体験教室 | が開催されました。

科学に関心をもってもらおうと同センターが企画した もので、材料の提供や工具の準備、指導などは市内宮戸 工業団地で操業している福島サンケン㈱に全面的に協力 をいただきました。

市内外の小学5・6年生とその 保護者ら約50人が参加し、スライ ドなどでLEDの仕組みを学んだ 後、LEDを使った工作に挑戦し ました。

児童たちは、はんだ付けなど慣 れない作業に戸惑いながらも、保 護者と一緒にライトを完成させ、 楽しい夏休みの思い出をつくって いました。



▲完成したLEDライトを持って



▲間違わないようにはんだ付け



▲ここはどうやるんですか?

岩代ふるさと探検隊「名目津温泉を探検」

岩代公民館主催のふるさと探検隊 は7月29日から1泊2日の日程で開 かれ、岩代地域の3小学校から21人 が参加しました。

日程の中に名目津温泉周辺の探検 もあり、蚊やブョに刺された手足の 傷を温泉でいやしました。

名目津温泉はおかげさまをもちま してオープン時より多数来場いただ き、7月は27日間の営業で、延べ2.949 人の方の利用がありました。



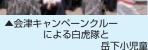
少年隊顕彰祭・墓前祭 ふくしま「城」フェスタin乙本松

7月28日に行われた顕彰祭では、二本松北、岳下、二本松南小児童による剣舞や舞踊などが演じられたほか、「城」フェスタの一環として、会津キャンペーンクルーによる白虎隊の剣舞が披露されました。

墓前祭は少年隊の命日にあたる29日、大隣寺において開催され、少年隊戦死者16人の冥福を祈り、二本松少年隊作品コンクールの表彰および最優秀作品の発表などが行われました。

▼二本松北小児童による剣舞





▼いにしえ灯火回廊



同じく28日、29日に、県城下町連絡協議会の主催で開催された第1回ふくしま「城」フェスタは、霞ヶ城公園と男女共生センターを会場に「丹羽家十八代当主丹羽長聰氏による講演」、「会津美里町ふれあい茶会」や「相馬外天会の砲術披露」などさまざまな催しが行われました。

28日夜には、廃油を活用して製作したろうそくを箕輪門周辺に配置した「いにしえ灯火(ともしび)回廊」や少年隊士の名を記した「灯篭流し」などが行われ、会場を訪れた方は、幻想的な世界を堪能していました。

宝くじ助成で 祭り備品等を整備



平成22年度の一般コミュニティ助成事業(宝くじ助成)を活用し、薬師堂行政区では地域の夏祭りで使用される「やぐら」「太鼓」等の整備を行いました。



市推奨作物「小玉スイカ」出荷

市が平成20年度より推奨し、新ふるさと農村おこし 推進事業により苗木等の購入助成を行っている小玉ス イカについて、みちのく安達農業協同組合の高宮常務 理事、安斎営農課長より、三保市長に今年の作況およ

び出荷状況についての報告 がありました。

作況および出荷状況は、 好天が続くなか順調だった とのことで、猛暑と相まっ て関西市場(大阪、京都)、 福島市場などで好評を博し ていたとのことです。

なお、当市の今年の作付 面積は、44.5アール、栽培 者数は17人となっています。



ブックスタート事業 ~8月より~

絵本を開き、親子が心ふれあう楽しいひとときを持つきっかけ作り を行うブックスタート事業が始まりました。

4ヵ月児健診の会場で、健診の最後にスタッフが読み聞かせを行い、 絵本が入ったスタートパックをお渡しします。

<スタートパックの中味> 絵本2冊、コットンバッグ、 イラストアドバイス集、 図書館利用案内チラシ等





▲ボランティアスタッフによる読み聞かせ